

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第14週の発生動向

□ 全数報告の感染症（14 週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：報告なし。3 類感染症：報告なし。

4 類感染症：レジオネラ症 1 例。5 類感染症：水痘（入院例）2 例、梅毒 5 例、百日咳 11 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
4類	レジオネラ症	宮崎市	30歳代	男	ボンティアック熱型	発熱、咳
5類	水痘〔入院例〕	宮崎市	10歳代	男	臨床診断例	発熱、発疹、免疫不全
			50歳代	男	臨床診断例	発熱、発疹、肺炎
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
			80歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	右頸部リンパ節腫脹、膿瘍
			高鍋	50歳代	無症状病原体保有者	なし

	疾患名	報告 保健所	報告数	年齢群			症状
				0～4歳	5～9歳	10歳代	
5類	百日咳	宮崎市	11例	4	5	2	持続する咳、夜間の咳き込み

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 938 人（定点当たり 21.5）で、前週比 68%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はインフルエンザと新型コロナウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 262 人（4.5）で、前週比 66%と減少した。中央（7.0）、高千穂（6.5）、延岡（6.0）保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

【インフルエンザ】

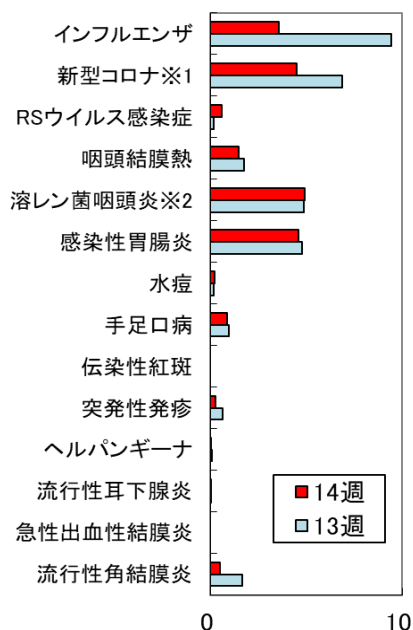
報告数は 206 人（3.6）で、前週比 38%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*（0.8）の約 4.3 倍であった。日南（7.0）、中央（5.5）、延岡（4.9）保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 177 人（4.9）で、前週比 101%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*（1.6）の約 3.0 倍であった。高千穂（8.0）、宮崎市（7.4）、延岡（6.8）保健所からの報告が多く、年齢群別は 3 歳から 6 歳が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

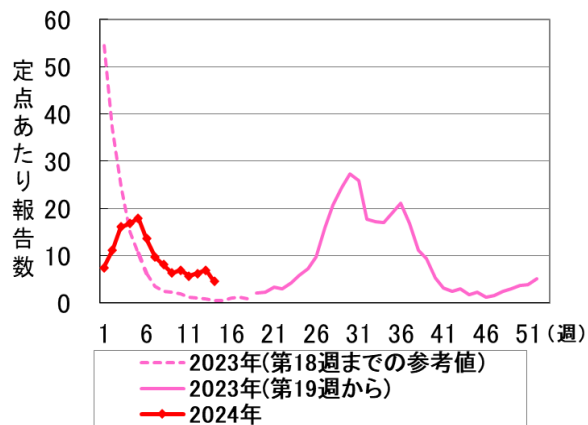
《前週との比較》



定点点あたり報告数

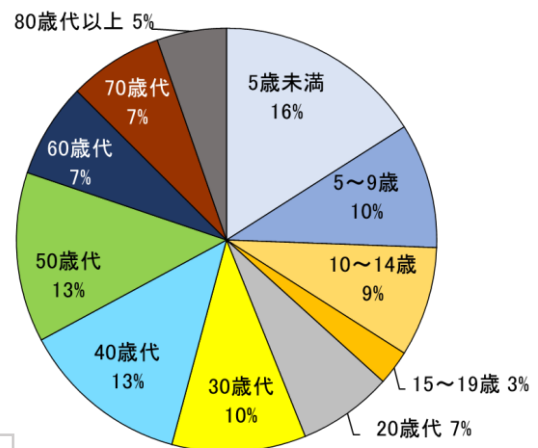
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

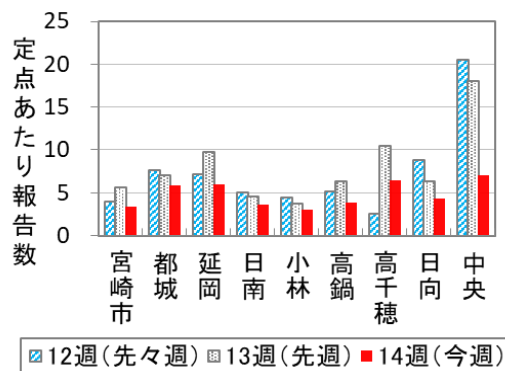


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

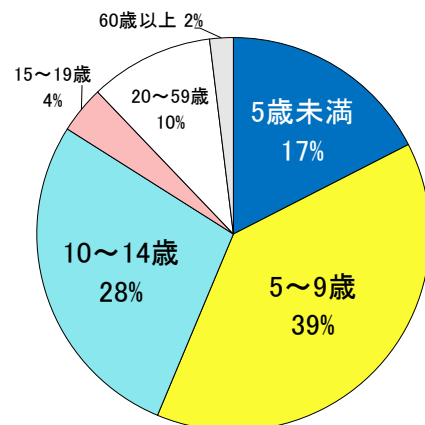
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ (第14週)



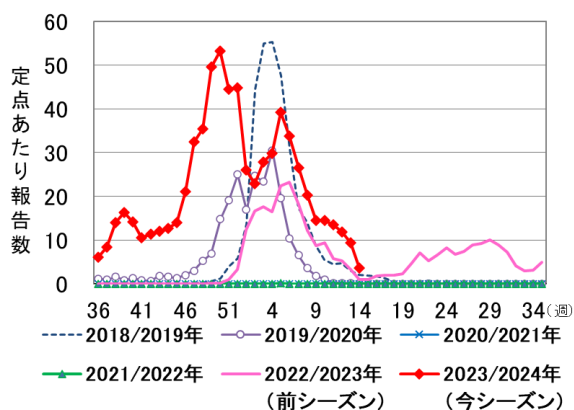
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3週分)



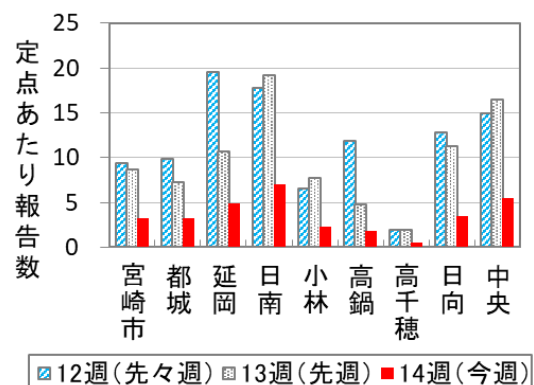
インフルエンザ年齢群別グラフ(第14週)



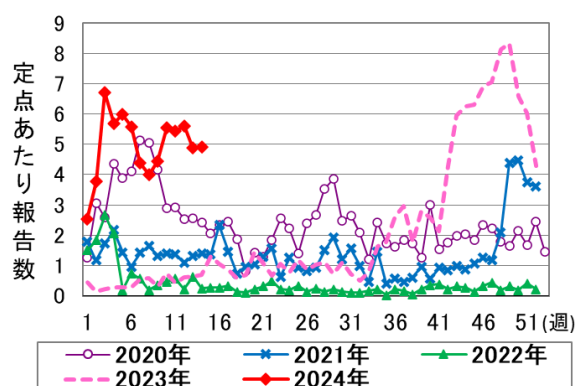
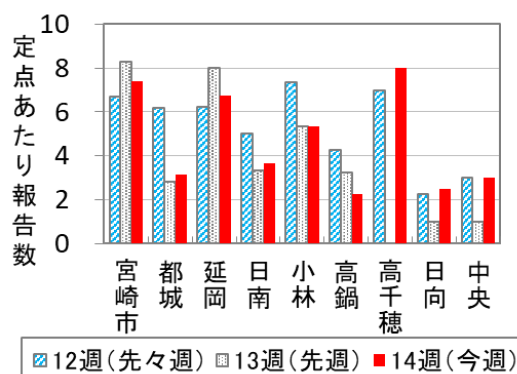
インフルエンザ 発生状況



インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
保健所別推移(3週分)

★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	咽頭結膜熱(3.4)
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
日向	なし
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊

・咽頭結膜熱(3)

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)

全国 2024 年第 13 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	271 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	34 例	腸チフス	2 例
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	2 例	エムボックス	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	デング熱	2 例	レジオネラ症	18 例
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	25 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	31 例
	後天性免疫不全症候群	13 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	13 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	34 例	水痘(入院例)	8 例	梅毒	145 例
	播種性クリプトコックス症	4 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	14 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 90%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

インフルエンザの報告数は 55,189 人(11.2)で前週比 79%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.3)の約 8.4 倍であった。愛媛県(25.8)、新潟県(24.1)、富山県(21.5)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 25,179 人(5.1)で前週比 98%とほぼ横ばいであった。秋田県(12.3)、岩手県(9.2)、宮城県(9.1)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

疾病名		第13週	第14週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	548	206	51	33	34	35	9	11	1	21	11
	定点当り	9.45	3.55	3.19	3.30	4.86	7.00	2.25	1.83	0.50	3.50	5.50
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	399	262	55	59	42	18	12	23	13	26	14
	定点当り	6.88	4.52	3.44	5.90	6.00	3.60	3.00	3.83	6.50	4.33	7.00
RSウイルス 感染症	報告数	6	21	6	3			12				
	定点当り	0.17	0.58	0.60	0.50	0.00	0.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	63	53	34	5	4	5	1	1		2	1
	定点当り	1.75	1.47	3.40	0.83	1.00	1.67	0.33	0.25	0.00	0.50	1.00
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	176	177	74	19	27	11	16	9	8	10	3
	定点当り	4.89	4.92	7.40	3.17	6.75	3.67	5.33	2.25	8.00	2.50	3.00
感染性胃腸炎	報告数	172	165	43	39	1	24	24	18		12	4
	定点当り	4.78	4.58	4.30	6.50	0.25	8.00	8.00	4.50	0.00	3.00	4.00
水 痘	報告数	6	8	4	1		1	1	1			
	定点当り	0.17	0.22	0.40	0.17	0.00	0.33	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	35	31	24	4			2	1			
	定点当り	0.97	0.86	2.40	0.67	0.00	0.00	0.67	0.25	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	23	10	1		3	1	1	2		1	1
	定点当り	0.64	0.28	0.10	0.00	0.75	0.33	0.33	0.50	0.00	0.25	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	1	1								
	定点当り	0.08	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	1			1						
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	10	3	2	1							
	定点当り	1.67	0.50	0.67	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週 ～14週 保健所受理分)

2類感染症	結核	19例		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5例		
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	13例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例	後天性免疫不全症候群	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	3例	水痘(入院例)	3例(2)
	百日咳	12例(11)		
			レジオネラ症	4例(1)
			クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
			梅毒	45例(5)

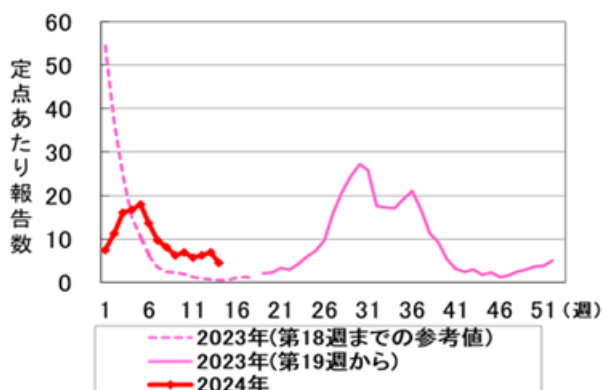
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第14週、全国第13週（再掲）》

□ 県内第14週 新型コロナウイルス感染症発生動向

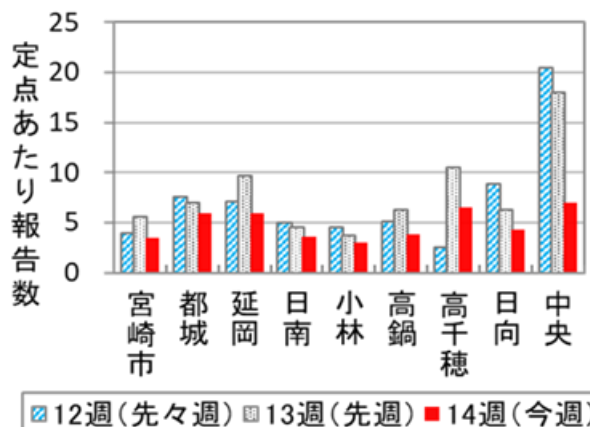
4月1日～4月7日までの1週間で262人(4.5)の報告があった。前週比66%と減少した。中央(7.0)、高千穂(6.5)、延岡(6.0)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

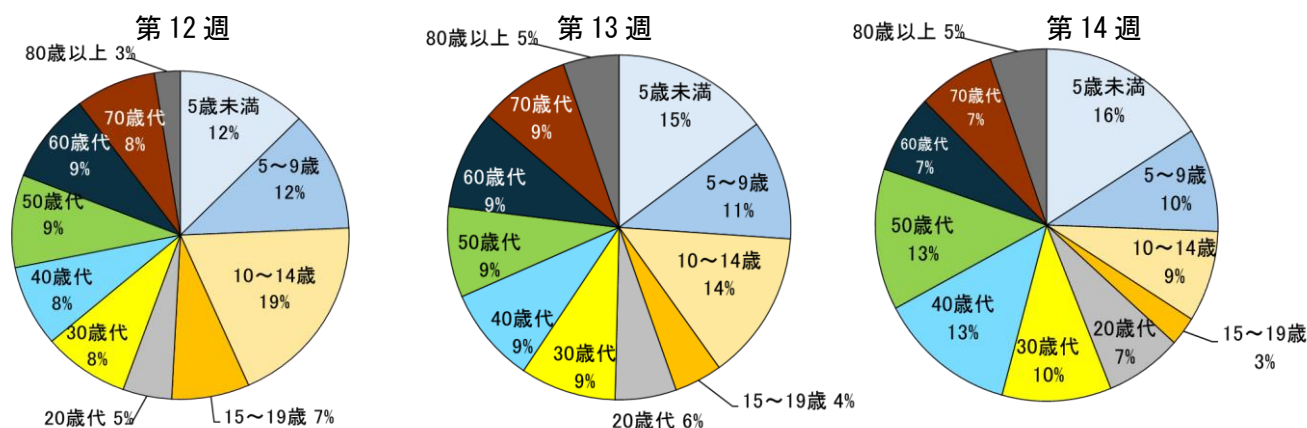


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

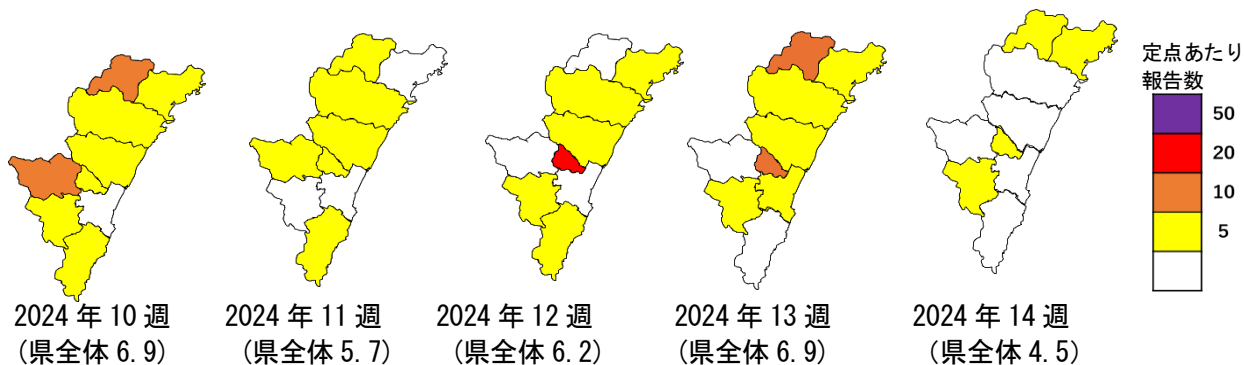
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第10週～2024年第14週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第13週 新型コロナウイルス感染症発生動向

3月25日～3月31日までの1週間で25,179人(5.1)の報告があった。前週比98%と横ばいであった。秋田県(12.3)、岩手県(9.2)、宮城県(9.1)からの報告が多かった。年齢群別では15歳未満が全体の約3割を占めた。